



その11

=お手伝い・生活の クオリティー(質)を上げる=

タオルたたみ、食器洗いと拭き、様々な物の片づけなどお家でも、約束としてやっている子も多いですね。
スイッチでも静の時間の必須活動です。みんな上手ですが、「ただの上手ではあと一歩なのです！」

そう！クオリティーの向上を求めて行きたいのです★

先輩たちの実習の話、就労先に関する会議などに参加し、更に何を追及したらいいのかを考えると、「クオリティー！」
「質」の向上なのです。

1.<タオルたたみ>

タオルたたみでも、角を合わせるだけでなく、仕舞う時に重ねる向きなども重要です。また、机でなく空中でいかに
上手にたためるかも追及されるなど、厳しい指摘をされる事業所も多いです。

2.<食器洗い・拭き>

洗剤の量、水の出し方、洗いとふき取りの确实さ、手際の良さ。

3.<トイレの使い方>

男子は飛び散りを気を付けられるか、ふき取りが出来るか。 トイレトペーパーの使い方。

4.<荷物の整理整頓>

ナップやカバンから、着替えや物を出すときの出し(拵)方。たたみ方と片付け方。

5.<身だしなみ・靴のかかと>

靴下の正しい履き方。靴のかかをと踏まずに履けること。

6.<報告・連絡・相談の自主性>

「〇〇が出来ました」「わかりません」「教えてください」「〇〇を貸してください」などが自主的に言えること。

上記の6項目は、基本事項かもしれませんが、これは、お家でも出来るトレーニングです。特別な事はありません。
毎回(その都度)の声掛けの繰り返しだけで、子ども達は蓄積し学びます☆ 学校やスイッチ(デイ)でも行っている
事です。ここにお家での声掛けと習慣が加わることで、成長と学びに大きく影響してきます☆

子ども達は確実に日々学び、成長をしています。その成長を発揮させる一押しが、大人の役目です。

こだわりや障がい名を理由に、成長にストップをかけてしまっていないか？

お家は、リラックスをするところでもいいです♪ ただ、生活の中で当たり前の事は自分でできるように、声掛けなどを
してあげてください。 言葉や表現、行動の幅を拓けるのは、とにかく声掛けと会話です。一方的な声掛けでも、学ん
でいます☆ 「好きだから」を理由にスマホやタブレットだけで余暇時間を過ごしていませんか？

好きな時間を好きな事で過ごす選択は大切ですが、

それだけでは興味、言葉・表現・行動の幅は広がらないですよ〜。